

社会福祉法人「福寿園」機関紙

【愛と感謝と奉仕】

ひまわり

- ② 年頭のごあいさつ
- ③ 正月特集 元旦祭
- ④ 連載vol.76 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- ⑤ ▶ ⑧ 各施設トピックス
- ⑧ たぶトピ
- ⑨ 福寿園ニュース
- ⑩ ▶ ⑪ 家族会だより
- ⑫ 連載 ● 外国人介護士紹介インタビュー
● 祝出産! ベイビーちゃんいらっしゃ〜い
● 4コマまんが フクちゃん

185号

令和8年1月13日

新年号

恭賀新年

皆様へ健康をとお祈念申し上げます



理事長 古田 周作

旧年中は、弊法人に対し格別のご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。また、何が起こるか分からない不確実な時代にこうして無事に新年を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。

昨年は、女性初の総理大臣が誕生するなど新しい時代の幕開けを感じさせる一年となりました。スピード感をもった数々の政策において、我々の業界にも明るい希望が見えてくることを期待したいと思います。未曾有の物価高騰、人材不足など簡単には対処できない課題が多いですが、皆で知恵を絞って前進していきたいと思っています。

昨年より法人では、次の5年間を見据えた中長期経営計画を策定中であり、厳しい外部環境の中、皆で頑張つてこの難局を乗り越えていくというメッセージを込めて、「雲外蒼天（未来への挑戦）」という副題を付けました。今年度中に完成する予定です。

さて、今年は豊橋市におけるグループホーム・障がい者の就労支援等の施設整備を予定しております。法人の目指す共生社会の実現に少しでも近づけるよう準備を進めます。また昨年10月に完成した「あいふくファクトリー」もいよいよ本格稼働となります。順次、芋商品を販売していく予定です。ご期待ください。

今年の干支は「午」です。古来より午は「勢い」「躍進」「前進」を象徴すると言われます。停滞を打ち破り、新たな道を切り開く力を持つ干支でもあります。法人としても、この一年を「前に進む年」とし、地域貢献、職員育成、DX、D&I、健康経営などをさらにひとつ上へ推進してまいります。本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって明るく楽しい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事・施設部長

中立 次夫

新年あけましておめでとうございます。旧年中は何かとお世話になり、表心より御礼申し上げます。

昨年は国民の主食であるコメの価格高騰に代表されるような物価高が続き、公定価格が三年間据え置かれる介護業界は非常に厳しい環境に置かれました。また夏の猛暑や岩手県や大分県の大規模火災等、地球沸騰化時代が目に見えて感じられるような年でした。昨年は巳年で変革を象徴する年でしたが、本年は丙午で、火と火が重なるエネルギーに満ちた行動力と元気を象徴する年回りです。芽を出した植物が旺盛に繁茂していくことを表しています。高市早苗総理が日本のリーダーとして力強い指導力を発揮してくれていますが、福寿園も更なる発展を目指して、職員の力を五年後や十年後のありたい姿に結集して邁進していく所存です。世界は相変わらず紛争が続いていますが、私たちは全ての人を尊重しながら包摂していく共生型社会を目指しています。どうぞ、今後とも皆様方の変わらないご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

各施設で元旦祭

清々しい新年を迎え、1月1日、各施設において「元旦祭」が行われました。入居者の皆さんが集い、国歌斉唱、続いて理事長による年頭の挨拶が読み上げられました。その後、お屠蘇がふるまわれ、開設以来、創始者より受け継がれてきた伝統のおせち料理を味わいました。おせちは職員が心を込めて手作りし、一人ひとりにお重で用意され、お雑煮とともに提供されました。和やかな雰囲気の中、笑顔あふれるひとときとなり、入居者の皆さんとともに、1年の始まりを祝う意義深い時間となりました。



連載 76

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



家族写真

昭和15年8月4日、名古屋市生まれ。戦前・戦後の混乱期に、7人兄妹の6番目・四男として生まれました。幼い頃に父の仕事の都合で東京・足立区へ移り住み、中学・高校時代を東京で過ごしました。

高校卒業後、父の勤める会社に入社し、20歳の頃、百貨店の飲食店舗の経営立て直しのため浜松へ派遣されました。東京との違いに驚きはあったが、浜松のゆったりとした環境や友人との出会いに惹かれ、「この

地に根を下ろしたい」という思いが強くなりました。

仕事では東京での流行りやアイデアを取り入れ、飲食店の立て直しに成功。23歳で独立し中華料理店を開業後、佐鳴台、幸町へと店舗を移しながら、65歳まで飲食店経営を続けました。

私生活では東京時代に出会った女性とお見合い結婚をし、二人の娘に恵まれました。

65歳で引退後はさまざまなことに挑戦するも長続きせず、70歳を過ぎてから偶然見かけたスポーツジムの体験が転機となりました。軽い気持ちで始めた運動は、最初は歩くだけ



2013年12月8日 ホノルルマラソンにて



RAN伴豊田2025に参加

だったのが次第に走るようになり、気づけばマラソンが人生の大きな楽しみになっていました。

仲間とも出会い、各地のマラソン大会にも参加し、73歳の時、思い切ってホノルルマラソンに挑戦しました。青い海に囲まれたホノルルの街は明るく、沿道からの「アロハ！」という声援に何度も励まされました。10キロほど走ったダイヤモンドヘッド付近で足に強い痛みを感じ、「ここまでもかもしれない」と思った瞬間も



しお ぎき つとむ
塩崎 寅さん
(ケアハウス みなみ)

プロフィール

生年月日…1940年8月4日生まれ
年 齢…85歳
好きな食べ物…レアステーキ
性 格…頑固
趣 味…プール、ウォーキング
座右の銘…ゆつくりは速い

ありましたが、それでも、ここまで来たのだからと一歩一歩前に進み続け、8時間でしたと着きました。ゴールには、言葉に出来ない達成感がありました。年齢ではなく「やると決めたことをやり抜くモチ」があれば、人はまだまだ前に進めるのだと、心から実感した瞬間でした。

60代から黄斑変性による視力低下はあるものの、体が丈夫でいられるのはマラソンのおかげだと感じています。マラソンは、私にとって人生そのもの。目標を立てて、思うようにいかないときも立ち止まりながら、それでも前に向かって進んでいく。ゴールにたどり着けば、また次の目標が見えてくる。その繰り返しで今の私を支えています。

今の夢は、90歳になったらもう一度ホノルルに挑戦すること。車いすでなく自分の足でゴールしたい。そのためにも自分の体は自分で管理するという意識を大切にし、これからも日々運動を続けていきたいと思っています。

各施設 TOPICS トピックス



ケアハウスパシフィック カムカム弁当!!



オーラルフレイル
予防を目的に、田原
市から、地域の介護

予防教室のご利用者への昼食弁当の
提供依頼がありました。その名も『カ
ムカム弁当』です。老化予防は「ま
ずはしっかりと噛んで食べ、栄養
を摂ることから!」。その言葉の通
り、食材は噛み応えが残るように調
理し、もちろん栄
養価は◎。「食べ
応えがあり、とて
も美味しかった」
と、大好評でした。
この考えから学び、
施設入居者への食
事提供もひと工夫
健康作りを実践し
ています。

みなみ福祉まつり

秋の深まりを感じる11月16日、地
域の方々に高齢者だけでなく、子ど
もや障がい者にも福祉を身近に感じ
てもらうことをテーマに、『みなみ
福祉まつり』が盛大に開催されまし
た。豊田市ジュニアマーチングバン
ドイリュージョンマジックさんによ
る大迫力の演奏で始まり、障がい者
施設の方によるクッキーや作品販売
ブース、ケアハウス入居者によるバ
ザー、地元自治区の方によるブース
などが並びました。多くの皆様の協



力により、たくさんの来場者と楽し
い一日を過ごすことができました。

田原ゆの里

世界に「つだけ」のクリスマス飾り

季節のお楽しみとして、松ぼっく
りを使ったクリスマスオーナメント
作りを行いました。松ぼっくりには
色とりどりのビーズを飾り付け、一
つひとつに個性が光る、可愛いらし
い作品が完成しました。制作中は「ど
んな色にしようかな」と真剣な表情
で取り組まれている姿が印象的でし
た。完成が近づくにつれて「きれい
になってきたね」「華やかになった
よ」と笑顔も増えていきました。最
後には「早く飾りたいね」とクリス



マスを迎える楽しみの声が聞かれま
した。

くすのきの里

介護体験スタンプラリー

11月11日の「介護の日」に、地元
の小中学生14名がキッズボランティア
に参加しました。スタンプラリー
をしながら、入浴や移乗
の福祉用具、見守りカメ
ラなどのICT機器、食
事形態の食べ比べや入居
者との会話を体験。子供
たちからは、「こんなに
介護の機械があるのは知
らなかった。びっくりし
た!!」、「ミキサー食もお
しかった」、「また入居



者さんと話したい、関わりたい」な
どの感想をいただきました。将来の
ことを考えはじめる小中学生にとつ
て、思い出に残る体験となるように、
今後もキッズボランティアの機会を
作っていききたいと思っています。

新たな仲間が増えました♪

サンテパルクたはらより、
かわいいモルモットをお迎
えしました！元気で食いし
ん坊な子と、少し臆病でお
となしい2匹の女の
子です。丸いフォル
ムとフワフワの毛並
みに、利用者の皆さ
んも職員もメロメロ
♡一瞬にして田原福
寿園のアイドルにな
りました。みなさん
もぜひ、会いに来て
くださいね！



ひまわり邸

あったかまつり

「寒さに負けないように、
温かいものを食べたい」
の声から「あったかまつ
り」を開催しました。温
かいものを温かいうちに
食べてもらうため、注文
を受け、目の前で調理を
してできたてのものを食
べてもらいました。焼き
たての卵焼き、熱々おで
ん、とんこつラーメンな
ど、温かいメニューを食
べて、心も体もホクホク



に。みんなの会話もいつも
以上に弾み、楽しい時間は
あっという間に過ぎていっ
た一晩でした。

おさかなでリフレッシュ



皆で少し遠出して、蒲郡に
出掛けてきました。一昨年リ
ニューアルオープンした竹島
水族館に行き、深海魚やアシ
カシヨを楽しみました。海
の生き物だけでなく、カピバ
ラやリクガメも見ることがで
き、大満足の時間となりました。
その後は市場に移動し、
お昼ごはんをいただきました。
海鮮丼や天丼など、皆さんそ
れぞれ好きな物を注文され、
「新鮮で美味しい」と喜ばれ
ていました。

日本福祉大学・経済学部へ授業

労働経済学の授業として、
就労継続支援A・B型の見学
会と出前授業を実施しました。
見学では、木田の里の温浴施
設を通じた働き方、収入、賃
金向上の仕組みや、保育・高
齢者の多分野に広がる福寿園
のサービスを紹介しました。

授業では、就労継続支援事業
を自分たちで立ち上げるシミ
ュレーションと発表を行い、
雇用・収支・営業計画の視点
を助言しました。福祉の労働



経済を具体的に理解する機
会になったと思います。

渥美デイサービス

レッツゴー！木田の里！

年間行事の企画で、木田の
里へ出かけました。道中の渋
滞で時間が押してしまい、予



定していた「福寿の湯」に
は入れませんでした。最
初の施設を見ることができ、
利用者も職員も驚きの連続
でした。木田の里レストラ
ン「本格製麺つる福」では、
熱々サクサクの揚げ物
や丼、うどんを味わい、
「美味しい！」と笑み
がこぼれました。帰り
道にはショッピングと
コーヒーブレイク。天
候にも恵まれ、充実し
た1日を過ごすことが
できました。

東海福寿園ショートステイ

旬の和食でお祝い！秋の誕生日会

10、11月がお誕生日の方々と昼食に木曽路へ出かけました。天ぷらや刺身などの豪華な食事にみなさん大盛り上がりで「美味しい！」ととても喜ばれ、食後にはお誕生日のお祝いカードをお渡ししました。施設に戻った後は、外出できなかった方も含め、ユニットの全員でお祝いし、おやつには手作りのババロアを召し上



がっていただきました。今後も利用者さんに喜んでもらえる外出レクを企画していきます。

ひまわりの街サービス くっくうくっくうー！

11月28日、出張にぎり寿司を開催しました。朝からご利用者の皆さんも待ちきれません！食事の前には、お寿司クイズやお魚漢字クイズ等、食べる意欲を高めるために、職員の頭もフル回転。ひまわり寿司の大将が桶を持って来ると、「へいっくうくっくうー！」の掛け声でスタート！大将たちが握っても握っても、どん



どん皆さんのお腹の中へと吸い込まれていきました。

豊田福寿園

観楓く猿投神社へく



11月下旬、猿投神社の大慈殿へ紅葉見学に出かけました。寒くなってきましたが天気にも恵まれ、赤や黄色の紅葉の絨毯が広がる坂道を「わあ、すごい！」と楽しみながら歩きました。お土産に、きれいな紅葉を拾って持ち帰りました。帰りには、野菜作りなどで日頃からお世話になっているカフェで、できたてのアップルパイとコーヒーに舌鼓を打ちました。普段は見られない表情も多く見られ、次回は「どこに行こうかな」と大盛り上がりとなりました。

昭和の里サービス

イタリアンフェアでブォーノ♪

食欲の秋、昼食にイタリアンフェアを開催しました。パン工房小やけの人気メニューである焼き立てピザを始め、ナポリタン、カプレーゼ、テiramisuなど、イタリアを訪れた気分

で美味しい食事をいただきました。焼き立てで熱々チーズがとろろりのピザは格別で、皆さん「美味しい！」と喜ばれ、「ブォーノ！」の合言葉とほころぶ笑顔。楽しく、美味しいひと時を過ごすことができました。



養護盲福寿園

紅葉、時々リス



暖かい気候から急に寒い日となった11月の半ば、岐阜県の金華山へ日帰り旅行に行ってきました。山は黄色く葉が色づいてきており、少し早い紅葉を楽しまれました。金華山では有名ナリス村にも寄りました。エサをあげながら、かわいいリスにふれあう新鮮さに自然と笑みがこぼれ、そんないつもとは違う体験に、皆さん満足されておりました。

武豊福寿園

市原地区ソフトボール大会

11月23日に、武豊町市原地区と福寿園知多地区職員とのソフトボール大会を6年ぶりに行いました。市原地区の方18名、福寿園職員20名が参加し、晴天の中、開催。インド



ネシア出身の職員のゲデくんは、ソフトボールは初めての経験でしたが、5回裏に内野ゴロの間に塁。ゲデくんをホームインさせたいと職員一丸となりタイムリーヒット！

見事、ホームインできました。結果、13対2で福寿園の勝利で終わりました。ソフトボール終了後は市原地区の地域の方と懇親会を行い、親睦を深めることができました。

デイサービスきぬうら ご利用者忘年会



今年は忘年会企画として、昔音楽活動をされていたことのあるご利用者が主役となり「リサ・イタルショー」を開催。ビートルズなどの名曲をピアノ演奏や歌で披露され、職員も得意なギターやバイオリン演奏で一緒に盛り上がりました。会場では大きな拍手に包まれ、「生演奏で聴けてよかった」「素敵だった」など嬉しい言葉が…。また、名物「福寿鍋」が振舞われ、皆さんからも大好評。食事を囲みながら一年を振り返る温かな時間となりました。

ちた福寿園

秋晴れ ちた福マルシェ

第4回ちた福マルシェを開催しました。今年も多彩な出店者の皆様のご協力で、普段とは違うグルメを味わったり、雑貨やお花、フルーツを買ったりと、入居者の皆さんや職員、地域の方が和気あいあいと交流を楽しみました。ステージでは、3組の素敵な演奏に合わせて歌を口ずさんだり拍手をしたりと、思い思いに楽しめました。最後は毎年恒例の『知多の特産品抽選会』です。自分の番号が呼ばれるのを祈るドキドキの表情や、当選者のとびきりの笑顔、皆さんの表情がとても素敵でした。



芸能歌謡発表会に特別出演！

田原福祉グローバル専門学校

田原文化会館文化ホールにて行われた田原市老人クラブ連合会主催の芸能歌謡発表会に、本校の留学生が特別出演させていただきました。インドネシアとミャンマーの学生が各国の民族舞踊を披露し、大変盛り上がったステージとなりました。今回は24年度入学の先輩と数カ月前に入学したばかりの後輩が初めて先輩と一緒に踊ることとなり、緊

張しながらも、華やかな民族衣装に身を包み大勢で踊るダンスは圧巻でした。



田原福祉グローバル専門学校

たふピ
TOPICS

ISO維持審査

12月3日から5日の3日間、3人の審査員が7拠点をサンプリングして運用状況を審査していただきました。今回の審査員はリーダー始め2人が福祉・医療系にあまり詳しくない方で、お互いに戸惑いがありましたが、それゆえに製造業の視点を教えていただいたり、システムの基本を教えていただいたりすることができました。マネジメントレビューの記録や品質目標をQC手法で追求していく仕組みに高い評価を得ることができました。また昨年、計画作成のプロセスで指摘された軽度の不適合につきましても、しっかり改善され運用がなされているとの評価で、無事に審査を終えることができました。



生成AI基礎セミナー実施

生成AI基礎セミナーを開催しました。講師には豊田高専卒業後、スタートアップとして起業された株式会社NAGARA様をお招きしました。セミナーでは、メール作成や会議録のまとめを実際にAIに行ってもらい、その際に必要なプロンプト（指示文）について、PCやスマホを操作しながら実践的に学びました。体験を通して、AIの進化のすごさを実感しました。今後も段階的なステップアップ研修を継続し、業務の効率化や時間短縮につなげていきたいと考えています。



第7回 福祉の心をはぐくむ集い



令和7年11月2日、豊田市福祉センター大ホールにて「第7回みんなではぐくむ福祉の心」を開催しました。本事業は、思いやりと福祉の心を地域に広げることを目的に、福寿園をはぐくむ会「未来」と福寿園が共催する社会還元事業です。

第1部では、「福祉の心」絵手紙の表彰式を行い、県知事賞や豊田市長賞など各賞の受賞者が表彰されました。多くの来賓にもご臨席いただき、子どもたちに温かな拍手が送られました。

第2部のトークショーでは、お笑い芸人でエッセイストのにしおかすみこさんを迎え、「笑って向き合う家族のカタチ〜ポンコツ一家のリアルな日常〜」をテーマに、ご家族とのエピソードを明るく楽しく語っていただきました。障がいや認知症があっても「その人らしさ」を大切にしながら共に生きていくことの大切さを学びました。

つながる家族 システム導入

福寿園では、昨今のデジタル化促進に鑑み、毎月の利用料の請求書や領収書を紙での発行からWEB（アプリ）での配信に変更していくこととなりました。またそのシステムとして、「つながる家族」というアプリケーションを導入いたします。今後はスマホやタブレットに入れた専用アプリにデータが届くようになります。

システム導入については、2026年1月分の請求書から開始していく予定で準備を進めております。現在福寿園のサービスを利用中の方でアプリへの切替え対象となる方については請求書に案内文を同封させていただいておりますので、ご確認をお願い致します。

家族会だより

● 家族会会長 年頭のごあいさつ



田原福寿園
家族会会長

大場 可

皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年の、夏の納涼祭では佐藤朱実さんの生歌による「福寿園ゆめ音頭」で踊りの輪が広がり、会場が一体となって盛り上がりました。秋の福寿園野外フェスにおいては、メインイベントとなる川中美幸さんの歌謡ショーで、素晴らしい歌声と愉快なトークで会場を楽しませてくれました。職員のみなさんには、日頃より細やかで心温まるお世話を頂き、感謝にたえません。今後とも家族会として、入所者に生きがいと潤いのある生活を支援して参りたいと思います。結びに、本年も皆様にとって、幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。



田原ゆの里
家族会会長

伊藤 幸次

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申

あけまして
おめでとう
ございませう

申し上げます。昨年は、恒例の園内環境整備をはじめ、スナックや餅つきなど多くの年中行事にご参加いただき、誠にありがとうございました。行事の準備や運営に力を注いでくださった職員の皆様にも改めて深く感謝いたします。特にスナック行事では、毎回多彩な料理に舌鼓を打ち、家族で楽しいひと時を過ごさせていただきました。本年も、より多くの家族会の皆様に参加していただけることを期待するとともに、より良い運営のためのご意見やアイデアをお寄せいただければ幸いです。



渥美福寿園
家族会会長

太田 直樹

皆様には輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。昨年は家族会の活動で多くのご家族が参加していただき、家族同士、職員の皆様との交流もでき家族会として良い一年となりました。夏祭りに関しては盛大に行い地域の方々との交流も行うことができました。ご家族の皆様、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。日々の職員の皆



花の里
家族会会長

小久保昌彦

様の心温かいお世話により私たちの家族が笑顔で元気に過ごすことができています。家族会としても引き続き支援ができるように努めていきたいと思います。最後にありますが、新たな年が希望に満ちた飛躍の年でありますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

入居者の皆様 家族会の皆様 職員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎える事とお慶び申し上げます。昨年の12月にコロナ感染が花の里の園内にも広がり、その対応に大変苦労したと聞いております。細心の注意を払っていても、このような事態もあるということ。その後、コロナも終息し、行事も例年通り開催され、夏祭りでは入居者及びその家族、職員、学生ボランティア、地区の役員と協力して、祭りを盛り上げ、地域の人々も全員楽しい時間を過ごすことができました。これからも家族会として、色々な活動に協力していくつもりです。最後になりますが、本年が皆様にとって、幸多き年になりますように、お祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



豊田福寿園
家族会会長

梶原 守則

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。



みなみ福寿園
家族会会長

小野 英樹

平素は、家族会の活動ならびに当施設の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年の行事におきましては、多くの家族会員の皆様の参加をいただき家族会としても、施設とともに盛り上げることで運営の意義を改めて感じる場面でありました。本年も、ご入居者様ご利用者様が安心して快適な日々をお過ごしいただけるよう、また、ご家族様との連携を大切に、より良い施設環境づくりに努めてまいります。

「介護の日」、昨年を振り返ります思い浮かぶ日です。家族会でも積極的に参加するため、飲み物コーナーをお手伝いさせて頂きました。販売対応は思ったより大変で、これまでの施設の方々のご苦勞を改めて知りました。

また、「普段は見たり知ることの少ない体験」の一環で浴室を見学させて頂きました。専用の車いすに座ったまま全身浴ができます。斜めに座った方や、仰向けになった方用の設備もあり全員が湯舟にゆったりつかれるようになっていました。ありがたいことです。

我々家族も実際に参加したり、見学することにより介護について理解できたと思います。今後も継続してまいりますので引き続きご協力をお願いいたします。



ひまわりの街
家族会会長
田中 雅裕

昨年は、観測史上記録的な猛暑となり、10月になっても暑い日が続きました。そんな中、ひまわりの街では、快適な環境での職員の皆さんの細かい気配りと温かい介護により、入所者は元気に過ごす事ができました。感謝しております。引き続きよろしく願いたします。

また、6月にはバーベキュー、8月に夏祭り、12月に忘年会が催され、たくさんの皆様と一緒に有意義な楽しい時間を過ごす事ができました。有難うございました。今年も職員の皆様には色々お手数をおかけしますが、入居者が楽しく健康に暮らせるようにどうぞよろしくお願いいたします。家族会は、皆様と力を合わせてひまわりの街を大いに盛り上げていきたいと思ひます。



ひまわり邸
家族会会長
阿部 友治

平素は、家族会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。入居者の皆様が穏やかに新年を迎えられましたのも、ひとえに施設職員の方々の献身的なご尽力のおかげであり、家族会を代表して厚く御礼申し上げます。昨年は落ち着いたとはいえまだまだ収束しないコロナ

感染症の予防に配慮しつつ、地域の皆様を含めた行事を盛大に運営していただき、ご家族、地域の皆様との交流にお力添えいただきました。本年は、施設とご家族様との連携をさらに密にし、入居されている皆様により一層充実した日々を過ごせるよう、家族会として微力ながらお手伝いしてまいりたいと存じます。皆様の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



武豊福寿園
家族会会長
石川 彰

新たな年を迎えるにあたり、日頃より家族会の活動へ温かいご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年は物価高騰や国際情勢の緊張、度重なる自然災害など、社会全体が不安定な状況に置かれていました。その中で、入所者の皆さまが穏やかに日々を過ごせているのは、施設職員の皆さまの献身的な支え、そしてご家族の皆さまの思いやりに満ちた関わりのおかげであると深く感じております。本年も、家族会として施設と連携を深めながら、より穏やかで心豊かな日々をともに築いてまいりたいと存じます。どうぞ引き続き、温かいご協力をお願い申し上げます。



くすのきの里
家族親睦会
世話人代表
清水 恒義

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨

年、くすのきの里におきましては、家族交流会やくすのきまつりのイベントなどが趣向を凝らしつつ盛大に行われ、入居者様とそのご家族様、また、地域の皆様と笑顔溢れる素晴らしいふれあいの交流ができました。これもひとえに施設長始め職員の皆様のお陰であり、ここに深くお礼を申し上げます。また、昨年はインフルエンザが早い時期から流行しておりましたが、くすのきの里では職員の皆様がしっかりと対処していただきましたおかげで集団感染もなく推移いたしました。その点につきましても職員の皆様には重ねてお礼申し上げます。結びに、本年におきましても様々な楽しいイベントの機会が得られることを願ひつつ、皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



東海福寿園
家族親睦会
世話人代表
寺田 稔

福寿園の皆さまのお力添えにより、私たち家族は介護の重責から解放され安心して自分の人生を歩むことができています。心からの感謝を申し上げます。2025年は家族スタッフが心を寄せ合う催しが数多くありました。2月の看取り介護勉強会では、最期まで寄り添える仕組みを学び、命の尊さを感じました。

7月の夏まつりでは、屋台や輪投げを通じて入所者が往時を懐かしみ、孫たちと笑顔を分かち合いました。10月の清掃活動では汗を流し、炭火のバーベキューで心が温まる交流を重ねました。これらのひとつひとつが、福寿園の温もりある運営と皆



ちた福寿園
家族会会長
松本 直明

入所者、家族会および福寿園職員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染防止対策を実施しながらも職員のご支援のもと、花火大会、草取り清掃作業、ちた福マルシェ、餅つき大会など、利用者家族および地域住民の皆様参加のイベントを催すことができました。これも利用者家族のご理解が有つてのことと感謝致します。

また、利用者への日々細やかな対応、家族への連絡等、職員の皆様に大変感謝を申し上げます。

昨年からは国内政局が大きく変わり、毎日の生活にも影響が有りそうですが、今年も職員の皆様と家族会で連携協力し合い、快適な日々を過ごせるようにしたいと存じます。

最後に、皆様のご健康を祈念して年頭のご挨拶と致します。



福寿園オリジナル四コマまんが

新人介護士フクちゃんの日々の奮闘を通して、実際に福寿園の介護現場で営まれる老人ホームの日常を四コマまんがで楽しく伝えます。

連載 Vol.20

「新人介護士」 つりちゃん



連載 外国人介護士 紹介インタビュー

福寿園では、現在105名(フィリピン人 66名、ベトナム人 30名、インドネシア人 9名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
A 日本の文化にずっと興味があり、伝統と現代が共存するところに魅力を感じていました。また、新しい環境で生活し、自分に挑戦したいと思ったからです。
- Q 最近、心に残っていることはありますか?
A 道に迷った時に声をかけてもらったり、困っている時にさりげなく助けてもらったり…日本の方からの小さな優しさに触れる度に「日本って素敵だな」と思います。
- Q 日本の好きな食べ物(飲み物)はなんですか?
A とんこつラーメンが本当に大好きです!お店ごとに味が違うのも楽しいです。飲み物は抹茶ラテが一番好きで、気分を落ち着かせたい時によく飲みます。
- Q 日本の好きな言葉はありますか?
A 「よろしくお願いします」という言葉が好きです。意味が深く、一言で相手への気持ちや心の距離感が伝わる所が素敵だと思います。
- Q 最後に一言お願いします!
A 日本で働き、学ぶ機会にとっても感謝しています。これからも成長しながら、もっと多くの人と繋がっていきたいです。どうぞよろしくお願いします!



ハヴァナ ナオミ
バロドス
ニックネーム
ナオミ
田原福寿園(本館)
国籍:フィリピン

新連載

祝出産!

ベビーちゃん、いりっしや〜

白玉だんごのようなフォルムです!
是非、触ってあげてください♡笑



東海福寿園 職員

道見 純

《現在育児休業中》

お子さんのなまえ

なま 凧ちゃん(男の子)

性格 恥ずかしがり屋なビックボーですが、抱っこされるために手段は選ばません!

名前の由来 夏生まれなので夏っぽい名前を考えました。2つの候補で迷いましたが、職員の方のみなさんの好反応も決め手のひとつです。



令和8年1月13日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園
■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001認証取得 ※みまわりは再生紙を使用しています。

vol.185 12